



ひ・び・き

令和3年8月6日

充実した夏休みを過ごしていますか？



東京2020オリンピックが現在開催されています。アスリートの皆さんの奮闘ぶりを観て、一喜一憂！連日のように続くメダルラッシュに、大いに楽しませてもらっています。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い1年間延長されたこのオリンピック。ただでさえ1年延期になっているのに、直前まで開催の是非さえ世論が二分するような状態で、アスリートの皆さんには、精神的に大変過酷な状況であったであろうと推察します。そんな中でありながら、自分のこれまで行ってきた練習を信じ、ベストパフォーマンスを行っている選手の皆さんから、私たちは大きな喜びと、大きな学びを与えていただいていると思います。

最後まであきらめないこと、そして、自分を信じることの大切さ、努力すれば願いは叶うということ、自分を支えてくださった多くの方々への感謝の念など、私たちが生活していく上で、大切にしなければいけないことがたくさんあると感じています。

このオリンピックが、自分を見直す機会にできれば最高だと思います。テレビを観ながら、お子さんにいろいろな話をしてあげてください。よろしくお願いします。

さて、早いもので、夏休みも後半戦に入ります。充実した夏休みになっているでしょうか？せつかくの夏休みです。終えた時に、これをがんばったよ！と、胸を張って言えるものをつくりたいですね。後方支援、よろしくお願いいたします。

平和学習・・・



今日は8月6日。

本校では、これまでから全校登校日をこの日に設定しています。

その目的は、もちろん、平和学習を行うためです。

戦争が終わってから、今年で76年。生きている方の大部分が戦争を知らない世代になってきました。それだけに、「戦争」って言っても、「平和な毎日があたりまえ」である子どもたちにはピンとこないのが現実です。

しかし、今の平和な毎日のくらしの裏には、数多くの人々の犠牲があったことを私たちは忘れてはいけません。毎日、思い続けなくてもよいとは思いますが、時には、静かに考えてみる時間を設けることが大切ではないでしょうか。

弘道校は、8月6日をそんな日にしたいと思っています。全国的には、夏休み中の登校日を設けないという傾向が強くなってきていますが、弘道校では、あえてそこにこだわりたいと思います。

戦争はいけないものと誰もわかっているのに、今でも世界の中では戦いが続いています。日本も、いつ何時、巻き込まれていくかわかりません。

だからこそ、戦争が生み出す罪の大きさをしっかり理解させ、これからも平和を守り続けられる子どもたちにしていかなければいけないと考えています。

いのちについて、戦争について、少し考えてみる1日にしたいものです。

ラジオ体操 ありがとうございます！

各分区で、実施時期、時間、回数は異なりますが、ラジオ体操を実施していただきました。ありがとうございます。

多くの分区では、すでに終了ということになりました。

夏休み中も、普段どおり起きることが、生活リズムを整える上で一番有効です。ラジオ体操はもうないから、朝早く起きるのはやめめた！というのは「**」です。

朝、目覚めたとき、朝の太陽光線をあびることがホルモンの分泌のために大切だと言われています。そのためにも、起きたらまずカーテンを開けましょう！



弘道小 PTA 資源ごみ回収

7月24日(土)開催



今年は、児童が参加した中で実施することができました。お世話になりました各分区子ども会の役員の方、そして、PTA 執行委員の方、本当にありがとうございました。



本年度も学校の貴重な財源として、諸活動に使用させていただきます。ありがとうございます。

奉仕作業ご協力ください！

8月21日(土)開催予定

2学期に向けて児童の学習環境を整えるため、本年度もPTAの皆様にご協力をお願いしています。暑い中、また、土曜日のお休みのところ、大変申し訳ないのですが、短時間ご協力いただけましたらありがたいです。

本年度は、弘道の森の整備に特に力を入れたいと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。学校の方でもお茶等を用意しますが、各自で十分水分補給ができますようご準備をお願い致します。



寄贈いただき ありがとうございます！

本校の蔵書の充実を図りたいと、図書担当ががんばってくれていて、先日閉館となったアイティの中にあつた『たんたん文庫』から100冊を超える本をいただきました。さらに、「うちにねむっている本で学校に寄贈してもよいという本をいただけないか」と保護者の皆様に声をかけさせていただいたところ、何と62冊もの本を寄贈していただくことができました。ありがとうございました。

様々な本にふれることが子どもたちを本好きにする一番の近道です。しかし、学校に配当される予算はわずかで、多くの本を子どもたちに与えてあげることができないのが現状です。

このように、ご家庭にある本で、学校に寄贈してもよいという本がありましたら、学校にお知らせください。

☎ 52-2105

